

2023. November

294

令和5年11月発行

商工連情報誌

なるほど神奈川

Kanagawa Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

神奈川県商工会連合会

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80

(神奈川中小企業センター10階)

TEL 045-633-5080 FAX 045-633-5081

URL http://www.k-skr.or.jp

○発行責任者/関戸昌邦 2023.11

寒川町商工会
株式会社かさや傘岡田 浩毅さん(左)
岡田 真歩さん(右)

商いの達人

寒川町新型コロナウイルス感染症対策中小企業支援補助金の活用

岡田さんが傘屋を志した理由

寒川町にある、傘専門店「かさや傘」(かさやさん)。岡田浩毅さんは雨の日を楽しむために、自身が気に入るデザインの傘を探していましたが、当時はそのような傘が見つからず、残念な思いをしました。その経験から当初、岡田さんは、その思いに応えるために通常の1/4サイズのミニ傘に愛犬の写真を印刷し、インテリアの一部にすることで思い出を残す方法を思いつきました。

オリジナルのミニ傘が生まれた経緯

商業施設で傘を販売しているときに、愛犬が亡くなつたというお客様から、その愛犬との思い出を何かしらの形で残したいと相談がありました。岡田さんは、その思いに応えるために通

寒川町新型コロナウイルス感染症対策中小企業支援補助金の活用

オリジナルのミニ傘と倉庫の改装で事業の安定化

寒川町商工会
株式会社かさや傘



通常の1/4サイズのミニ傘



オリジナルのミニ傘を制作するため生地と生地を縫い合わせる様子

(HP)
<https://kasayasan.com/>



(Instagram)
<https://www.instagram.com/kasayasan/>



(Facebook)
<https://www.facebook.com/people/?E3%81%8B%E3%81%95%E3%82%84%E5%82%98-kasyasan/100054222531632/>



営業時間

平日10時~17時/定休日土日祝

採択後は、補助金を利用して、プリント、ミシン、店舗の改装を行いました。プリントを利用することで、どんな傘生地にも印刷ができるだけでなく、持ち運び可能な実演することも可能となりました。

今後について

岡田さんは「若い頃に志した傘職人に対する思いは今も変わらない。現在はオリジナルのミニ傘を制作していますが、今後は当店オリジナルの雨傘や日傘を商品化したい。さらに、男性向けの傘も制作したい」と、今後の抱負を語ってくれました。せひ、この機会に「かさや傘」で一生ものの傘を見つけてはいかがでしょうか。

（問い合わせ先）株式会社かさや傘（かさやさん）
〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山78-1
テラスハウス参道110
☎ 0467-95-6989

講演する
株式会社サイゼリヤ
正垣会長

9月29日(金)、レンブラントホテル海老名(海老名市)で「令和5年度商工会長等研修会(マネジメントセミナー)」を開催しました。本研修会は商工会組織の運営を担い、地域を牽引するリーダーであり、企業の経営者である商工会役員等が、当面する課題を解決するための知識を習得し、厳しい経営環境に対応するとともに、地域商工業の健全な発展に資することを目的としています。今年度は株式会社サイゼリヤ代表取締役会長の正垣泰彦氏を講師に招き、「企業が発展、成長する法則」と題してご講演をいただきました。

開会のあいさつで関戸会長は「以前、正垣会長のインタビュー記事を拝見したときに感銘を受け、数年前から何度も講演のお願いをしていましたところ、今回承諾いただけた」と感謝の意を述べました。講演では、創業期からの道のりに触れながら、「サイゼリヤの現状」「創業期」「人材育成」「資産の蓄積」「チエーンストアシステム」といった5つの面から他社が真似できないサイゼリヤの成功の秘訣や展望をお話しいただきました。

結びに、「世の中はより良くするためには何をするべきか」仕事をしていて幸せな生き方を学んでほしい」とのお言葉をいただき、最後に、中村副会長が謝辞を述べ、笠間副会長の閉会の言葉で締めくられ、正垣会長を囲み、写真撮影をして本研修会を終えました。



参加された会長等

企業が発展、成長する法則

株式会社サイゼリヤ 正垣会長が講演

特に、「小さな会社が大きくなるための絶対条件は、①意欲②正しい考え方③ロマンとビジョンの3つを常に持つこと」、「目先の損得や、自分のことではなく、「相手のこと」、「社員のこと」、「お客様のこと」、「会社のこと」を優先して行動すること」サイゼリヤの基本理念「人のため・正しく・仲良く」に沿って行動できれば環境も活かせて皆さんが豊かになれる。「うまく行く時や苦しい時にこの理念を思い出して常に反省することが重要」といつたお話には多くの参加者が頷いていました。

逗子市内には小学校が5校あり、そのうちの3校は津波が発生し浸水した際に1メートルの高さになります。また他の2校は山の近くに位置しており、津波の影響はないものの土砂災害の可能性がある地域に位置しています。

子ども達は、学校で日々の防災について考えていますが、いざ学校や家以外の場所で被災した場合、どこに逃げれば良いのかが分からずの状況にあります。こうした問題を解決すべく、逗子市商工会女性部では、逗子市内各校の小学生達と一緒に、もし地震が起きた時にどのように行動をとることが良いのか家族での情報共有をするきっかけになるようアプリには、シンブルかつわかりやすい操作と愛らしい「ずし防くん」というキャラクターが画面に登場する他、5分圏内で逃げられる避難所の表示や災害用自販機の情報など、実際の災害発生に生かされる内容がまとめられています。

子ども達自身が考えて避難できるように

事前防災アプリ制作事業 ビジネスコミュニティ型補助金の活用

9月18日(月)に横浜国立大学で開催された内閣府主催の「ぼうさいこくたい2023」に逗子市商工会女性部の事業で防災アプリ作成に携わった、逗子市の小学生「逗子こども防災探検隊」が出席し、実際に歩いて調べた地域での危険な場所や、避難場所などについて調査した結果を発表しました。

子どもの目

線

での

調査

結果

には

「低

学

年

には

避

難

表

や

避

難

場

所

や

避

難

場

所

など

に

つ

て

調

査

し

て

調

査

し

た

結果

を

発

表

し

ま

し

た

。

うした問題を解決すべく、逗子市商工会女性部では、逗子市内各校の小学生達と一緒に、もし地震が起きた時にどのように行動をとることが良いのか家族での情報共有をするきっかけになるようアプリには、シンブルかつわかりやすい操作と愛らしい「ずし防くん」というキャラクターが画面に登場する他、5分圏内で逃げられる避難所の表示や災害用自販機の情報など、実際の災害発生に生かされる内容がまとめられています。

防災アプリ
「ずし防くん」

子どもプレゼンでの発表の様子

9月18日(月)に横浜国立大学で開催された内閣府主催の「ぼうさいこくたい2023」に逗子市商工会女性部の事業で防災アプリ作成に携わった、逗子市の小学生「逗子こども防災探検隊」が出席し、実際に歩いて調べた地域での危険な場所や、避難場所などについて調査した結果を発表しました。

小学生が発表

